

MJ+の国際標準化プロセス

小林龍生

元ISO/IEC JTC1/SC2国際議長

元Unicode Consortium Director

提案内容の取りまとめと提案/登録

- MJ+差分の整理統合
 - ユニファイ可能部分→IVDへの登録申込
 - MJコレクションに追加？
 - MJ+コレクションとして、新規申込？
- ユニファイ不可能部分→新規符号化提案
 - 約500字以下→UNC((Urgent Needed Character)としてファーストトラック
 - 約500字以上→IRGの新規ブロックとして一括審議
 - 実使用実績のエビデンスが必須
- UCSの付属書Aの変更提案
 - MJコレクションの追加修正提案？
 - 新規にMJ+コレクションを提案？

コレクション明確化の重要性

- 統合分離の危険性
 - 文字集合全体が非互換となる ⇒ 公的文書の一貫性を毀損
 - 検索、排列に影響
 - JIS x0203のにがい経験
 - 無法地帯化した統合漢字
- 付属書Aで、使用レパートリーを明確化
 - 常用漢字、既存JIS、文字情報基盤は、国際標準としてすでに規格化済
 - MJ+の位置付けの明確化が必要
 - 既存のMJ文字図形に追加するか？
 - 新たなMJ+コレクションとして提案するか？

国際標準化のステイクホルダー

- ISO/IEC JTC1/SC2
- ISO/IEC JTC1/SC2/WG2/IRG
 - IEC: International Electrotechnical Commission
- Unicode Consortium
- 情報処理学会情報規格調査会SC2専門委員会(JSC2)
- 文字情報技術促進協議会(CITPC)
- デジタル庁
- 経済産業省